

スルホンアミド(Su)系合成抗菌剤を使用するヒトの感染症

選択↓

感染症法における感染症の分類*1					ヒト医療における治療	
感染症 類 型	疾 病 名	細菌*2	菌 名	節足動物 媒介*3	ST合剤の 使用*4	参照*5
1	エボラ出血熱	×				
1	クリミア・コンゴ出血熱	×				
1	痘そう	×				
1	南米出血熱	×				
1	ペスト	○	<i>Yersinia pestis</i>	△	×	NIID
1	マールブルグ病	×				
1	ラッサ熱	×				
2	急性灰白髄炎	×				
2	結核	○	<i>Mycobacterium tuberculosis complex</i> (ただ <i>M. bovis</i> BCGを除く。)		×	JAID/JSC
2	ジフテリア	○	<i>Corynebacterium diphtheriae</i>		×	JAID/JSC
2	重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウ イルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	×				
2	中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウ イルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	×				
2	鳥インフルエンザ(H5N1)	×				
2	鳥インフルエンザ(H7N9)	×				
3	コレラ	○	<i>Vibrio cholerae</i> O1又は		×	JAID/JSC
3	細菌性赤痢	○	<i>Shigella dysenteriae</i> 、 <i>S. flexneri</i> 、 <i>S. boydii</i> 、 <i>S. sonnei</i>		×	JAID/JSC
3	腸管出血性大腸菌感染症	○	EHEC、STEC等		×	JAID/JSC
3	腸チフス	○	<i>Salmonella Typhi</i>		×	JAID/JSC
3	パラチフス	○	<i>Salmonella Paratyphi A</i>		×	JAID/JSC
4	E型肝炎	×				
4	ウエストナイル熱	×				
4	A型肝炎	×				
4	エキノコックス症	×				
4	黄熱	×				
4	オウム病	○	<i>Chlamydophila</i> (<i>Chlamydia</i>) <i>psittaci</i>		×	JAID/JSC
4	オムスク出血熱	×				
4	回帰熱	○	<i>Borrelia recurrentis</i> , <i>B. duttonii</i> 等	○	×	NIID
4	キャサナル森林病	×				
4	Q熱	○	<i>Coxiella burnetii</i>	△	×	NIID
4	狂犬病	×				
4	コクシジオイデス症	×				
4	サル痘	×				
4	ジカウイルス感染症	×				
4	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウ イルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	×				
4	腎症候性出血熱	×				
4	西部ウマ脳炎	×				
4	ダニ媒介脳炎	×				
4	炭疽	○	<i>Bacillus anthracis</i>		×	NIID
4	チクングニア熱	×				
4	つつが虫病	○	<i>Orientia tsutsugamushi</i>	○	×	NIID
4	デング熱	×				
4	東部ウマ脳炎	×				
4	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)	×				
4	ニパウイルス感染症	×				
4	日本紅斑熱	○	<i>Rickettsia japonica</i>	○	×	NIID
4	日本脳炎	×				
4	ハンタウイルス肺症候群	×				
4	Bウイルス病	×				
4	鼻疽	○	<i>Burkholderia mallei</i>		×*6	CDC/戸田
4	ブルセラ症	○	<i>Brucella abortus</i> 、 <i>B. suis</i> 、 <i>B. melitensis</i> 及び <i>B. canis</i>		×	NIID
4	ベネズエラウマ脳炎	×				
4	ヘンドラウイルス感染症	×				
4	発しんチフス	○	<i>Rickettsia prowazekii</i>	○	×	NIID
4	ボツリヌス症	○	<i>Clostridium botulinum</i> 、 <i>C.</i> <i>butyricum</i> 、 <i>C. baratii</i> 等が 産生するボツリヌス毒素		-	NIID
4	マラリア	×				
4	野兎病	○	<i>Francisella tularensis</i>		×	NIID

選択↓	感染症法における感染症の分類*1					ヒト医療における治療	
	感染症 類 型	疾 病 名	細菌*2	菌 名	節足動物 媒介*3	ST合剤の 使用*4	参照*5
○	4	ライム病	○	<i>Borrelia burgdorferi</i> sensu lato	○	×	NIID
	4	リッサウイルス感染症	×				
	4	リフトバレー熱	×				
	4	類鼻疽	○	<i>Burkholderia pseudomallei</i>		◎	CDC
	4	レジオネラ症	○	<i>Legionella pneumophila</i> 等		×	JAID/JSC
	4	レプトスピラ症	○	<i>Leptospira interrogans</i> 等		×	NIID
	4	ロッキー山紅斑熱	○	<i>Rickettsia rickettsii</i>	○	×	CDC
	5	ア메ーバ赤痢	×				
	5	RSウイルス感染症	×				
	5	咽頭結膜熱	×				
○	5	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	×				
	5	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	×				
	5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	<i>Streptococcus pyogenes</i>		×	NIID
	5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	○	CRE		×	JAID/JSC
	5	感染性胃腸炎	-				
	5	急性出血性結膜炎	×				
	5	急性弛緩性麻痺	-				
	5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	-				
	5	クラミジア肺炎(オウム病を除く。)	○	<i>Chlamydia (Chlamydia) pneumoniae</i> , <i>Chlamydia trachomatis</i>		×	JAID/JSC
	5	クリプトスポリジウム症	×				
○	5	クロイツフェルト・ヤコブ病	×				
	5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○	<i>Streptococcus pyogenes</i>		×	NIID
	5	後天性免疫不全症候群	×				
	5	細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。)	-				
	5	ジアルジア症	×				
	5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	○	<i>Haemophilus influenzae</i>		○*7	戸田
	5	侵襲性髄膜炎菌感染症	○	<i>Neisseria meningitidis</i>		×	JAID/JSC
	5	侵襲性肺炎球菌感染症	○	<i>Streptococcus</i>		×	JAID/JSC
	5	水痘	×				
	5	水痘(入院例に限る。)	×				
?	5	性器クラミジア感染症	○	<i>Chlamydia trachomatis</i>		×	JAID/JSC
	5	性器ヘルペスウイルス感染症	×				
	5	尖圭コンジローマ	×				
	5	先天性風しん症候群	×				
	5	手足口病	×				
	5	伝染性紅斑	×				
	5	突発性発しん	×				
	5	梅毒	○	<i>Treponema pallidum</i>		×	JAID/JSC
	5	播種性クリプトコックス症	×				
	5	破傷風	○	<i>Clostridium tetani</i>		×	Merck
○	5	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	VRSA		?	?
	5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	○	VRE		×	JAID/JSC
	5	百日咳	○	<i>Bordetella pertussis</i>		○*7	サンフォード
	5	風しん	×				
	5	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	○	PRSP		×	NIID
	5	ヘルパンギーナ	×				
	5	マイコプラズマ肺炎	○	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		×	JAID/JSC
	5	麻しん	×				
	5	無菌性髄膜炎	×				
	5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	MRSA		◎	JAID/JSC
○	5	薬剤耐性アシネトバクター感染症	○	MDRA		×	JAID/JSC
	5	薬剤耐性緑膿菌感染症	○	DRP		×	JAID/JSC
	5	流行性角結膜炎	×				
	5	流行性耳下腺炎	×				
	5	淋菌感染症	○	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>		×	JAID/JSC
	5	新型インフルエンザ等感染症	×				

*1 厚生労働省。感染症法に基づく医師の届出のお願い。 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kan

*2 ○:細菌、×:細菌以外、-:病原体が定められていない

*3 ○:節足動物の媒介が必要、△:節足動物が媒介するが、その他の感染経路が存在する

*4 ヒト医療で推奨薬とされているSu系合成抗菌剤はST合剤のみ(例外:鼻疽)

◎:第一選択薬、○:第二選択薬、△:場合によっては使用可能、-:治療に抗生物質を使用しない

*5 JAID/JSC:JAID/JSC感染症治療ガイド・ガイドライン作成委員会編。JAID/JSC感染症治療ガイド2019。ライフサイエンス出版。2019。

NIID:国立感染症研究所。感染症情報。 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases.html>。

CDC:CDC。Diseases and Conditions。 <https://www.cdc.gov/diseasesconditions/index.html>。

そのほかウェブサイト(Merck)及び書籍(戸田新細菌学)を参照

*6 STではないが、CDCではSulfonamides、戸田ではスルファジアジンを使用すると記載がある。

*7 JAID/JSCにはST合剤は記載されていない。